

事務所休館のお知らせ

8月13日(月)~15日(水)は夏季休業のため事務所を閉めさせていただきます。ご了承ください。

けんせつ北部

購読料は組合費の中に含まれています。定価三十円

発行所 東京土建一般労働組合 城北ブロック会議 東京都豊島区西池袋5-22-15 電話 豊島(3986)2471 北(5390)6021 板橋(3963)5325 練馬(3825)5522 発行人代表者 佐藤 広平 発行予定日 毎月4回 1日、9日、17日、25日



豊島支部からは30人が参加

若い労働力を育てるためにも 賃金・単価引き上げ、予算要求 7・5中央総決起集会

賃金引き上げと週休二日の実現を

南池袋分会 相良 眞理

2019年度建設国保への現行水準予算確保、諸要求実現の対都要求行動は7月5日に行われ、9時半に新宿中央公園水の広場に集まった私たちは東京都へ個人請願書を提出し、午後から開催される全建総連の「賃金・単価引き上げ予算要求中央決起大会」へ向かいました。午後12時半から雨の降る中で開催された大会に私たちは日比谷公園小音楽堂で参加しました。全建総連吉田委員長から「週休二日が課題だが、賃金がダウンにならないようにしなければならぬ」とのあいさつが気になりました。勝野書記長の基調報告でも「設計労務単価が2012年から6年で43.3%上がっているのに、職人の手元には6.3%しか届いていないのが現状だ」とあり、このような現状で週休二日になったら収入減で建設労働者は食べていけないと思いましたが、設計労務単価に基づいた賃金・単価の引き上げと長時間労働の



デモは最後尾

は正、週休二日を進めることが、若い労働力・後継者を育てることになると思います。また建設国保の現行補助水準はなんとしても確保しなければ、保険料の値上げで生活が苦しくなります。そして建設アスベスト訴訟の早期解決と被害者救済基金の創設を

東京土建国保を守る

ハガキ要請行動にぜひご協力ください

私たちの命の綱である東京土建国保は、みなさんからの保険料と国・東京都からの補助金で運営されています。収入額の約半分を占める補助金を確保し、保険料の大幅な引き上げを抑え、国保組合財政の安定運営を守るためにも、要請ハガキの記入にご協力ください。昨年までよりも一か月早く、6月からハガキ要請行動が始まりました。

予算要求ハガキの文例

文例 組合員の場合

職種を記入してください。私は東京で〇〇をしております。建設国保は私達にとって大切な「命の綱」です。建設国保への補助金は現行水準を確保してください。住所 〇〇市△△町〇〇〇〇 氏名 □□□□

6・7月は厚労省、8・9月は東京都、10・11月は財務省へ届ける要請行動となります。現在、国保を取り巻く状況は厳しく、社会保障費の削減が相次ぐ中、ハガキ要請は国や都に、お願いいたします。私たちの切実な訴えを伝えることができ、土建国保の予算要求に大きな力になっていきます。全ての組合員・ご家族が参加できるとしても大切な運動です。ぜひ皆さんのご協力をお願いします。

米倉都議(共産)も賛同

豊島支部では6月25日の分会長書記長会議の前段で「予算獲得に向けた」学習会を行いました。その後、本部の石村社会保障対策部長も同席して、地元の米倉都議会議員(共産党)と懇談しました。建設産業の実情、低賃金の実態を報告、建設国保予算獲得の必要性を話し合い、その場で建設国保の育成強化のための賛同署名をいただきました。



(左から)原澤社保対部長、石村本都社保対部長、米倉都議 奈都議

秋の仲間づくり運動 活動者会議・出陣式

秋の月間に向けて活動者会議及び出陣式を行います。各分会の活動者のみなさんはぜひご参加ください。

- 日程 8月23日(木) 19時開会
場所 イケビズ6階大会議室
参加 各分会役員・活動家、組織の10%以上の参加をお願いします。
内容 前半(学習会)・後半(分会スローガンコンテスト)



8年目を迎えた福島震災、原発事故。今でも7万人以上が原発事故の影響で何らかの避難生活を送らざるを得ない状況や健康被害や賠償打ち切りなど経済的な支援に対する不安などを抱えているようです。そんな中、今回、東海第2原発(茨城県東海村)の再稼働に向けた動きが出てきている。忘れてはならない3・11の原発事故、二度と起こしてはならないことは誰もが思った出来事でした。原発をなくす全国連絡会で「原発廃止、エネルギー転換を実現するための改革基本法」の制定をめざす運動に取り組んでいく吉原毅さんの話を聞きました。「自然エネルギーを推進することによって原発がなくても日本は充分にやっつけられる」と「原発は人の命を奪い日本国を消滅しかねない、計り知れないほどの重大な危険を伴うもの」「原発を止めなければならぬこと」その為には多くの人に「原発ゼロ」を伝え広めていくことが重要だということを改めて、実感し、行動に移さなければならないと思いました。

第2回

ウッドLifeフェス としま子ども工作まつり 開催 地域には頼りになる職人がいます!

身近な東京土建の組織力を大いにアピール



としまも真剣

7月16日(月)海の日、第2回目の「ウッドLifeフェス」を豊島区役所1階のセンタースクエアで開催しました。当日は快晴で真夏の陽気。曇りの中、来場者が来てくれるかどうか心配しましたが、9時半の受付前には長蛇の列となりました。来場者は子どもたちも含め約400人以上、講師団は44名でした。

開会式では、豊島区の高野区長と豊島区民社会福祉協議会の田中会長が出席、それぞれ挨拶をいただきました。今回は、豊島区と姉妹都市を結ぶ秩父市の協力を得て、木材の提供を含めイベントにも一緒に参加し地元材木や観光をアピールしてもらいました。また、豊島区のご当地ヒーロー「フクロウ戦士トシマッハ」と土建本部から「ど

木工教室上級コースは7人の中学生が参加しました。男子4人・女子3人、女の子が多いのにビ

「すばらしいイスができた!」と大満足

さくら分会
野本 陽子

木工教室上級コースは7人の中学生が参加しました。男子4人・女子3人、女の子が多いのにビ

しを行い、私たちの技術・技能を身近でみてもらい惜しげもなく披露しました。また、未就学児を対象にした「木っ端トイ」や「タイル貼り写真立て」も大変好評で親子で熱中して作業をしてい

しを行い、私たちの技術・技能を身近でみてもらい惜しげもなく披露しました。また、未就学児を対象にした「木っ端トイ」や「タイル貼り写真立て」も大変好評で親子で熱中して作業をしてい

しを行い、私たちの技術・技能を身近でみてもらい惜しげもなく披露しました。また、未就学児を対象にした「木っ端トイ」や「タイル貼り写真立て」も大変好評で親子で熱中して作業をしてい



スリランカの中学生はすべてが初めて

別の2年生の女の子は「釘を使うのに興味があったから」と応募のきっかけを話してくれました。彼女はほとんどの工程を指導者の手を借りずに製作できたと、指導した青山さんが話していました。

慣れた手つきでノミを叩く中学生の女の子に

池袋分会
安藤 慎一

上級コースの中でも、かなり手慣れた手つきでノミを叩いている女子が目付き、声をかけて見ました。去年のウッドライフフェスにも来ていて、今回2回目という中学3年生の女の子でした。原澤さんの指導のもと3時間かけてやっと作り上げ



上級コース全員が、ノミの使い方と材木を斜めに切る時が一番難しかったと話していました。全員が時間内に出来上がり、とても満足している笑顔がありました。

「修繕は東京土建に相談したい」といわれ

椎名町分会
工藤美也子



クロス壁の補修

南池袋からお母さんと小学生の姉と弟でコッパトイのコーナーに参加。今日のイベントの感想を聞きました。お母さんは



「やったことがなく、わからないからどうだろう」と言っていたけど、けっこう没頭して作ることができ楽しかった。「なかなか木の廃材は手に入らないので貴重な体験が出来ました」「子どもたちは学校のカリキュラムで忙しいけど、こういうところで沢山の経験をさせることができ有難かったです」と話してくれました。お姉ちゃん、弟さ

「やっぱり職人さんはすごい」網戸の張替え

南池袋分会
相良 真理

網戸の張替えコースには、6人の女性が自分の



網戸の張替えを学ぶ

家の網戸を持って講習に来ました。昨年7月の雹(ひょう)で網戸が破れた千早在住の方、なんでも自分やりたいと南長崎から参加の方たちで、真剣に説明を聞き、持ってきた網戸を張り替えていました。

「職人さんは簡単にやっただけで、自分でやったらコツがつかめず大変でした。張替えが出来た時の喜びは大きかった。職人さんの技術はさすがと思った」と笑顔でした。

小さな窓の網戸から練習をして、大きなものもできるようにするために道具も揃えたいと、やる気満々の南大塚の女性が嬉しそうに話してくれました。

土建の住宅デーもみなさんご存知で、「自分出来ないときは職人さんに頼もうと思っっています。このような催しは楽しいですね」と取材にも積極的でした。



家族づれや海外実習生も参加

業種越え 新たな発見

椎名町分会 佐藤 和也

6月23日(土)に東長崎にて椎名町分会主催の新加入者歓迎、若手交流会を開催しました。

今回の開催目的として5月の拡大月間に新加入した新たな仲間が比較的若い世代が多かったことから若手組合員との交流を図ってもらおうというものでしたが残念ながら新加入者の参加が有

りませんでした。しかし、交流会自体としましては3組の家族での参加やマツエシールさんから海外実習生が参加してくるなど業種や文化を超えた交流を図ることが出来ました。

また、所属する群が違っても盛り上がったイベントになりましたが予想よりも参加者が多く、席が足りなくなってしまうといったアクシデントもあったので次回のイベントでは早めの集約を心がける等の対策を取ればと思います。

今回のイベントは好評のうちに終えられましたので今後はもっと家族連れで楽しめるものや世代を超えて交流の持てるイベントを企画して椎名町分会を盛り上げていきたいと思ひます。

新加入者歓迎・若手交流会を開催

椎名町分会

すべての仲間に伝えるよう

安い掛け金で安心の補償

どけん共済・推進運動

6月14日19時より支部会館と大塚東部区民事務所との2か所に別れ、全体で60人共済推進学習会が開かれました。

大塚東部区民事務所では、本部共済会より竹内は、今自分が入っている保険の内容を知らない人が

火災共済・地震共済

目標と到達

2018.07.19日現在

分会名	火災共済		地震共済	
	目標	成果	目標	成果
さくら	5	4	8	2
上池本町	5	☆5	8	0
南池袋	5	2	8	3
池袋	5	2	8	0
かなめ	5	2	8	0
椎名町	5	2	8	3
企業交流	5	0	8	0
直属	5	2	8	2
支部	40	19	64	10

火災・地震共済への加入促進運動

自宅や家財を守り 台風や落雷といった自然災害にも対応

6月8月の期間で火災地震共済加入促進運動を進めています。共済学習会の後19日と20日の2日間統一行動を設定し、各分会で旺盛に取り組みました。特に上池袋本町分会では、対象者に共済の内容を説明し、その場で加入を取り付けることができ火災共済の目標を早期に達成しました。

6月8月の期間で火災地震共済加入促進運動を進めています。共済学習会の後19日と20日の2日間統一行動を設定し、各分会で旺盛に取り組みました。特に上池袋本町分会では、対象者に共済の内容を説明し、その場で加入を取り付けることができ火災共済の目標を早期に達成しました。

ら誰でも加入出来ます。6月に発生した、大阪北部地震の影響もあり地震共済への関心も高まっています。震災はいつどこで起きてもおかしくない状況です。万が一の災害時に住宅や家財を守るため、保障制度を見直しをしてみたいかがでしょうか。火災地震共済は生活の再建を目的としたもので、民間の火災・地震保険と比べても非常に安い掛け金でお済みです。火災や地震だけではなく、降雪・台風、落雷といった自然災害にも対応。また漏水・床上浸水や車の衝突に対しても保障があります。引き続き全分会目標達成を目指して加入を呼びかけましょう。



伊香保温泉へ日帰りバスレク 南池袋分会

さくらんぼ100粒 食べたよ!

南池袋分会 相良 眞理



く、不満の声が聞こえてきました。それでも温泉がいい湯だったので喜ばれたと思います。ホテルから歩いて5分の石段街を散策しましたが、日帰りなのが残念でした。伊香保を後にして「さくらんぼ農園」に向かうバスの中で、携帯電話の緊急地震速報が鳴り響き、びっくりました。揺れることはありませんでした。ほとんどの人が携帯を持っていないため、

後継者対策部主催

分会合同若手交流会

(50歳代までの組合員限定)

日時：8月4日(土) 午後7時～9時まで
場所：池袋「雅屋」

(豊島区西池袋3-22-10-2F)

※9品の豪華料理と飲み放題のコース

参加費：2,000円 定員になり次第締切

参加申込は豊島支部(TEL03-3986-2471)

まで!

震源地が伊香保温泉のある「波川市」だったと知り、本当に驚きました。「さくらんぼ狩り」は100粒食べたら元が取れると添乗員さんから聞き、皆さん頑張って食べ続けました。美味しく食べた「さくらんぼ」に全員が満足、少なかった昼食の分を「さくらんぼ」で満腹にしました。車椅子の人も含めて大人32人、乳幼児2人の34人が参加し楽しい一日でした。

7月1日に第5回麻雀大会を20人で開催しました。今回は本部共済会から竹内さん、練馬支部から上原さん、武田さんにも参加してもらいまし



麻雀で広がる交流の幅

椎名町分会 田中 承宏

この感想があり、大変好評でした。本戦は予選3回、そして決勝を行いました。今回は、予選3回戦をすべてくじ引きで決めたのでいろんな人と顔を合わせることができ、とてもいい交流になりました。予選上位3人と根本

た。そして、講師として根本プロに来ていただきました。根本プロには初心者の参加者に、イチから麻雀をレクチャーしてもらい、参加者からは「わかりやすい、難しいけどぜひ覚えてみたい」

気象庁より梅雨明け宣言が出されて四日目の7月3日、豊島支部豊寿クラブ恒例の温泉懇親会が、昨年と同じ会場、「染井温泉SAKURA」にて開催されました。

湯つくり 温泉懇親会

豊寿クラブ会長 安藤 慎一

美味しく楽しく歓談

日射しの中、元気なシニア世代の間が、三々五々、午前11時ごろには会場に集まり、それぞれゆつくり温泉を楽しみ、午後1時からの昼食懇親会に移り。総勢38名、安藤会長のあいさつ、乾杯ではじまり、なごやかに歓談が続ぎ、参加のみなさん、美味しく食事ができ、好きなお酒が飲めるのが「花」と健康第一で過ごし、組合運動に参加し秋のバスハイクが楽しみ、と話されていました。

代表派遣のためのカンパのお願い

原水爆禁止世界大会・広島
日本母親大会・高知

8月4日から6日にかけて原水禁世界大会が広島で行われます。また第64回日本母親大会が8月25日から26日、高知県で開催されます。今年も平和運動の一環として、それぞれ代表を派遣します。仲間の参加を支えるため募金にご協力をお願いします。

都立病院中期計画が3月30日に示され2018年から2023年の6ヶ年(中期計画は3年間)で都立病院を独立行政法人化(独法化)の検討が

都立病院は赤字で都の一般会計から400億の繰入があり、効率的な運営できる独法化で病院の実情に合った経営が出来るということが独法化推進の人たちの主張です。「病院の実情に合った経営」って? そもそも

都立病院の独立行政法人化 社会保障を削るきっかけに

で出されました。

都立病院が独立行政法人になったからと言って、病院が廃止するわけじゃないから別に何の問題もないと考えている意見もあるでしょう。

それは大きな間違いだと思います、行政の社会保障費の削減や公的福祉サービスの民間への移行に繋がってしまいま

病院に受診するための社会保障費を削減が許されたら、他の行政サービスもどんどん削減や廃止されてしまいます。そういう問題になぜ組合が関

わっていかねければならないかを、問われる事がないか、あります。私たちの国保(東京土建国民健康保険組合)を

数年かけて無くし、全てが保険料で運営するようになると、当然ながら私たちの支払う保険料に跳ね返ってきます。東京土建国保も国や東京都から約半分程度の補助金を受けて運営していますが、もしその補助が

無くなり大幅な削減になったら大変なことになってしまいます。そのためにも毎年取り組みを行っている各都庁・自治体に向けてのハガキ要請行動を旺盛に取り組んでいます。私たちが使いやすい国保を守る事が、一元化全体への社会保障の改善に歯止めをかける運動でもありますので、組合全体の運動として取り組みを行っていきたいと思います。

土建国保に加入している組合員・家族の方は日本国内で宿泊旅行で申請により1人3000円の補助(65歳以上5000円)が受けられます。年度内(4月1日から翌年3月31日まで)1回です。宿泊施設で「補助金支給申請書(国保ガイドに付属)に証明印をもらってください。また、東京土建国保組合のホームページからもダウンロードできます。

国内の宿泊旅行補助金が出ます

東京土建国保から

8月

2日(木) 四役・書記局会議 19時
3日(金) 常任執行委員会(終日) 10時
4日(土) 後継者「分会合同若手交流会」
4日(土) 6日(月) 原水禁大会(広島)
5日(日) 城北ブロックPAL「としまえん交流会」

5日(日) 女性会「アラジン観劇会」
7日(火) 執行委員会 19時半
9日(木) 財政部会
10日(金) 教宣部会
13日(月) 15日(水) 夏季休業
22日(水) 国保対策・共済審査委員会
23日(木) 秋の拡大活動者会議・出陣式 19時
24日(金) 本部登録日
27日(月) なんでも相談会 13時半
28日(火) 全都書記局決起集会(窓口休止)

当面の主な行事・日程